

「液化石油ガス安全高度化計画2030」 の取組状況について（関係事業者等）



2024年3月19日
ガス警報器工業会

<ガス警報器の設置の促進>

L Pガス安全高度化計画

CO中毒 事故防止対策

業務用施設等に対する
安全意識の向上のための
周知・啓発

業務用換気警報器
CO警報器の設置促進

安全型機器及び
設備の開発普及

ガスの漏えいによる 爆発または火災 事故防止対策

安全な消費機器等の
普及促進

安全な消費機器等の
普及促進

周知等による
保安意識の向上

誤開放防止対策
の推進

ガス警報器の機能の高度
化及び設置の促進等

(以下、略)

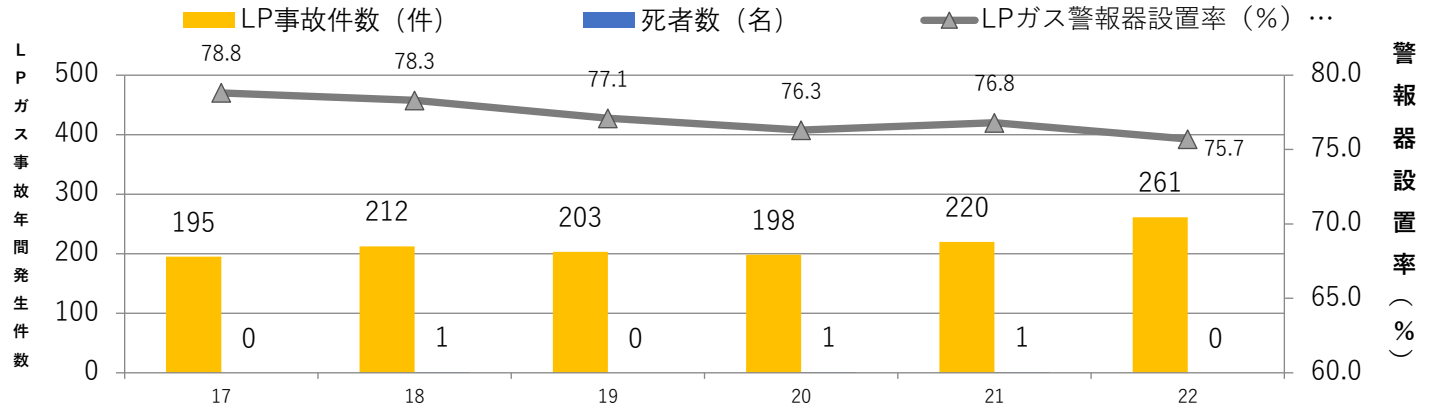
OLPガス警報器の設置率等

L Pガス警報器設置率	令和3年度末 76.8%	➡	4年度末 75.7% (対前年度▲1.1%)
期限切れ一掃率	令和3年度末 9.5%	➡	4年度末 9.2% (対前年度▲0.3%)
業務用換気警報器設置率	令和3年度末 55.3%	➡	4年度末 55.5% (対前年度+0.2%)
業務用厨房メータ連動率	令和3年度末 70.8%	➡	4年度末 71.2% (対前年度+0.4%)

(出典) 全L協「燃焼器具交換・安全機器普及状況等調査報告書」より。

<LPガス警報器の設置率と事故件数>

L Pガス警報器の設置率は漸減傾向であり、5年間で▲3%強の減少。一方、事故件数は増加傾向にある。



※令和5年1月末時点の調査結果に基づくものであり、調査の進展を受けて件数に変更が生じる可能性がある。

〇ガス警報器工業会の取組み

ガス警報器工業会では、理念「ガス警報器の普及を通じて、国民の暮らしの安全安心に貢献します」に基づき、令和3年度以降は「液化石油ガス安全高度化計画2030」に沿って、関係機関((一社)全国LPガス協会「全L協」、都道府県LPガス協会「県協」等)と連携して、L Pガス販売事業者、一般消費者等に対して、ガス警報器の有用性や設置促進について啓発活動を実施中。

令和5年度は、①L Pガス警報器の設置・交換運動の「リメイク運動」、②業務用換気警報器やCO警報器の設置促進、③令和2年7月福島県郡山市の飲食店ガス爆発事故等を受けて業務用施設でのガス警報器とガスメータとの連動遮断(以下「メータ連動」)を3本柱に、講師派遣、広報媒体提供等の啓発活動を実施した。

CO中毒 事故防止対策

業務用施設等に対する
安全意識の向上のための
周知・啓発

業務用換気警報器
CO警報器の設置促進

安全型機器及び
設備の開発普及

ガスの漏えいによる 爆発または火災 事故防止対策

安全な消費機器等の
普及促進

安全な消費機器等の
普及促進

周知等による
保安意識の向上

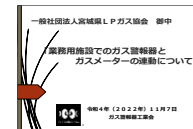
誤開放防止対策
の推進

ガス警報器の機能の高度
化及び設置の促進等

(以下、略)

1. 講師派遣（県協・七液協の保安講習会等へ）

- (1) 県協・七液協（L Pガス販売事業者向け）：**令和5年度** 計30回（前年度46回）
【県協】北海道、神奈川県2、新潟県10、石川県4、広島県7、高知県4、【中国液協】広島県、鳥取県
- (2) 消費者団体等（一般消費者等向け）：**令和5年度** 計12回（前年度9回）
住宅防火対策推進協議会7、女性防火クラブ幹部地域研修会3、広島県地域女性団体連絡協議会、主婦連合会
- (3) 産業保安監督部（行政機関向け）：**令和5年度** 計1回（前年度1回）
中部産業保安監督部による自治体L Pガス保安担当者・中部ブロック会議(WEB)



2. 広報媒体の製作・配付・利用促進

・**令和5年度**は、ポスター、パンフレット、冊子等の広報媒体を製作・増刷（2023年度ポスター4.6万枚製作（内L Pガス用3.7万枚）、「ガスもれ事故防止のための手引き」38万部増刷、「2023年度インターネットを利用した全国のお客様の声」0.5万部製作、「ガス警報器設置マニュアル」0.2万部増刷等）。

配布先としては、①ポスターや手引きは全国697関係団体へ郵送。②パンフレット、冊子等は上記保安講習会等に加えて6県協（宮城県、山形県、茨城県、三重県、大阪府、岡山県）の保安講習会へ配布。③「国際福祉機器展（9/27～29東京ビックサイト、来場者：会場約11万人、ブース約2千人）」にブース設置して一般消費者等へ配布。④更に、ホームページに掲示し利用促進を図った。⑤九州産業保安監督部による防災訓練（福岡県、熊本県）ブース展示ヘデモ警報器の貸出やパンフレットを提供した。



<2023年度ポスター> <業務用換気警報器> <CO中毒防止・メータ運動> <奏功事例・2023お客様の声> <設置マニュアル等>

3. リメイク運動（LPガス警報器の設置・交換運動）表彰制度等

・2012年度から、経済産業省、全L協、L Pガス安全委員会等の協力を得て、「L Pガス消費者保安推進大会」において、L Pガス警報器の設置率等の高い県協に対して感謝状の授与を開始。

現在、4部門（実質設置率、期限切れ一掃率、業務用換気警報器設置率、業務用施設のメータと警報器連動率）について、各上位5位までの県協を対象。

令和5年度は、10月26日に如水会館にて、表彰式を開催した。

<2023年度リメイク運動パンフ>



L Pガス安全高度化計画

ガスの漏えいによる
爆発または火災
事故防止対策

安全な消費機器等の
普及促進

周知等による
保安意識の向上

誤開放防止対策
の推進

ガス警報器の機能の高度
化及び設置の促進等

消費設備調査の
高度化

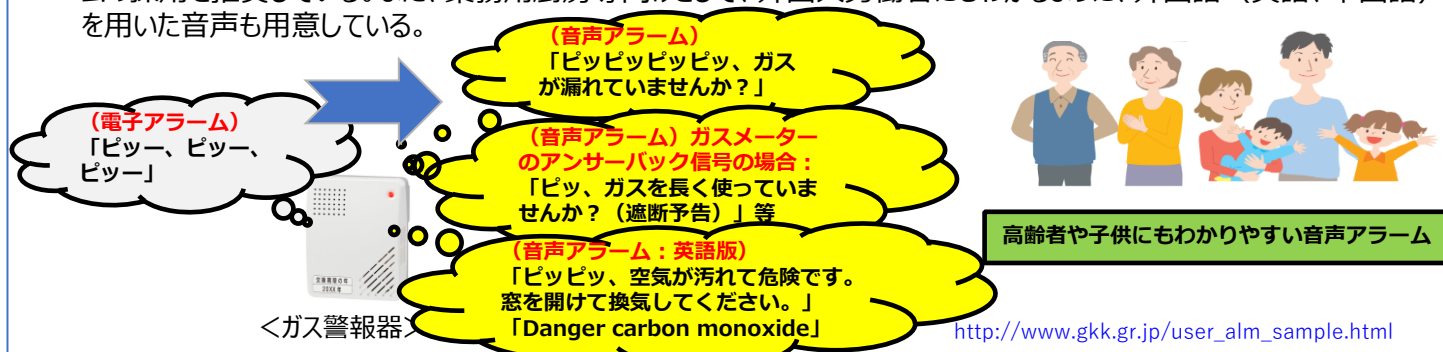
リコール製品等への
対応

<ガス警報器の機能の高度化>

ガス警報器工業会は、メーカー等の関係事業者によるガス警報器の付加価値の向上や電池式警報器の開発など、ガス警報器の機能の高度化を支援しています。

令和5年度も、引き続き、以下の取組支援を継続した。

- ①ガス警報器の警報は、ホームページ等を活用して、消費者がわかりやすいように、電子アラーム（ブザー）から音声アラームの採用を推奨している。また、業務用厨房等向けとして、外国人労働者にもわかるように、外国語（英語、中国語）を用いた音声も用意している。



スマホからQRコードにアクセスすると、ガス警報器工業会ホームページ掲載の警報音の代表例を聞くことができます。



- ②業務用換気警報器では、警報履歴の記録機能を搭載し、現場のガス機器使用環境の把握等に役立てている。

- ③ガス警報器とガスメータの連動遮断を促進するため、警報器に内蔵または外付け出来る製品も販売されている。



- ④電池式警報器は、停電時の安全確保のため必要な製品であり、既に製品化されている都市ガス用に続き、L Pガス用の実用化を目指してメーカーで検討しています。

<スマート保安の推進>

L P ガス安全高度化計画

スマート保安の推進

スマートメーター・
集中監視等を利用した
保安の高度化

その他のスマート保安
に関するアクションプラン

・次世代の高速大容量通信仕様として、ガスメーターの通信規格であるUバス及びUバスエア（無線）が一部事業者で検討されてきた。

ガス警報器工業会では、令和3年度からガスメーターとガス警報器の通信システムに、業界でこれを採用するべく発足した「Uバス仕様三者検討会」（テレメタリング推進協議会、日本ガスメーター工業会、当工業会）に参加して検討中です。

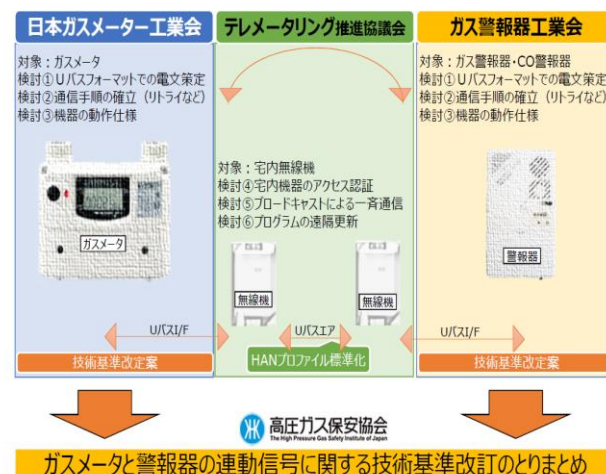
令和5年度（現在）は、「ガス漏れ警報器Uバスインターフェース仕様書(案)」を、日本ガスメーター工業会との相互確認が終了。

・ガス警報器としては、無線ネットワークに組み込むことで、メータとガス警報器の連動率向上に伴いガス事故の低減が期待される。例えば、警報器のプラグ抜けが生じた場合の対応を従前以上に確実に迅速に展開したり、また、メーター連動時のガス警報器からの音声応答（警報器アンサ）の充実による保安レベル向上、サービス向上を検討していくことが考えられる。

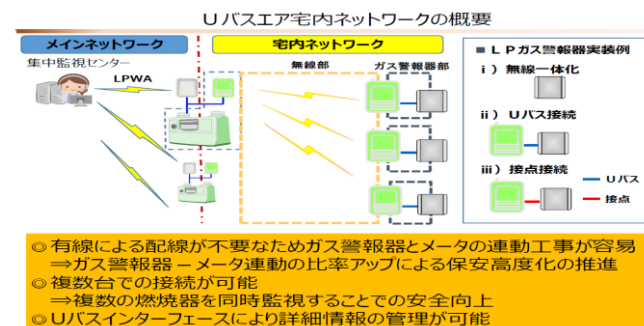
令和6年度は、「ガス漏れ警報器Uバスインターフェース仕様書(案)」と「マイコンメーターUバスインターフェース仕様書(案)」により、上記三者検討会を開催して標準仕様書の整備を行い、また、規程改正の整備を進めていく。

・更にその後、ガス警報器を活用した、IoTによるガス燃焼機器等との連携や集中監視システムの活用など、技術の実用化に併せて、適宜、標準仕様書を整備し規程改正等の整備も求められる。

Uバス無線連動仕様の検討スキーム（案）



（出所）Uバス仕様三者検討会資料より



参考：ガスメータと警報器の連動機能

